

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 豊郷南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和5年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

令和5年4月18日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 英語, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語 86人

② 算数 86人

5 留意事項

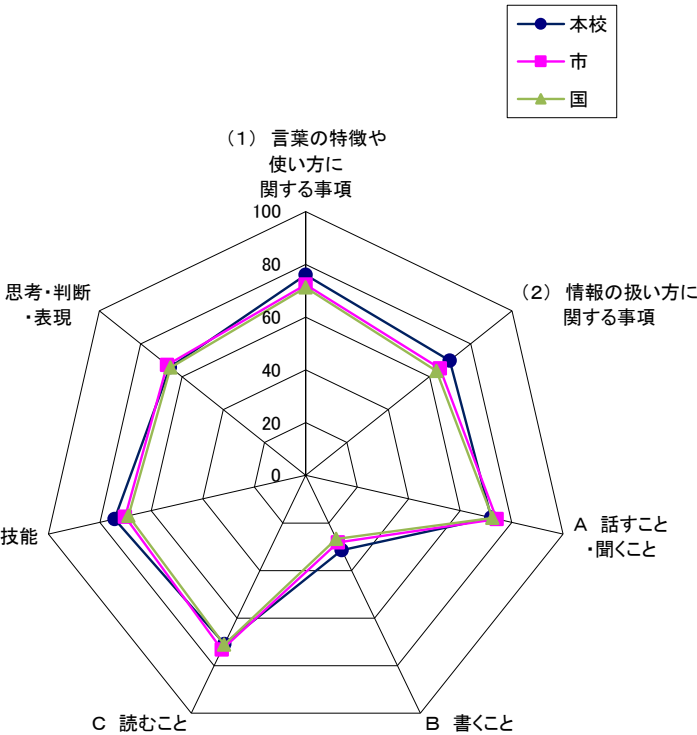
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	76.0	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	69.8	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	72.1	74.2	72.6
	B 書くこと	31.4	28.2	26.7
	C 読むこと	70.9	73.3	71.2
観点	知識・技能	74.3	70.2	68.9
	思考・判断・表現	65.8	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

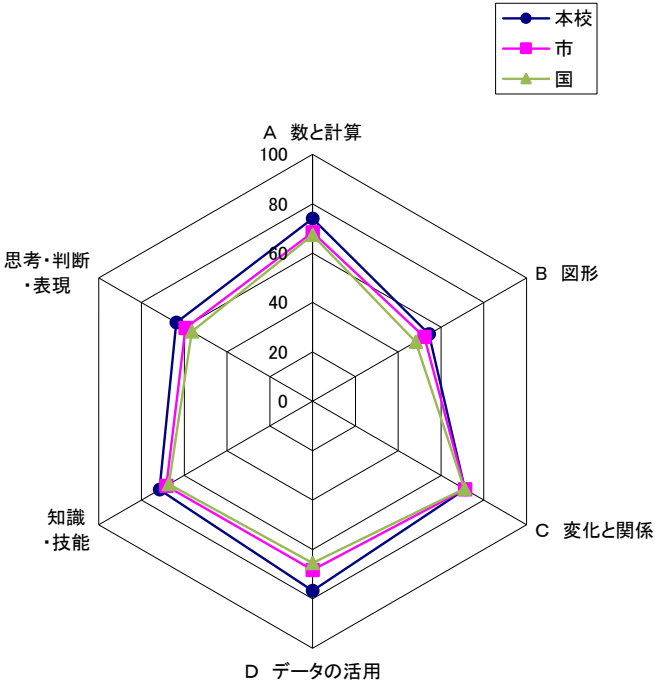
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	・領域の正答率は、76%で国、市の正答率よりも4～5ポイント高い。 ○「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題では、正答率が87.2%で全国平均より15ポイント高かった。 ●「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」問題では、51.2%で全国平均より6.4ポイント低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・今までに学習した漢字を使って振り返りを書いたり、漢字練習と小テストを繰り返し行ったりして進出漢字の定着を図る。 ・敬語を使うべき状況を確認するとともに、敬語そのものの指導だけではなく、相手や場と敬語(ことば)の指導を普段の生活の中でも行っていくようにする。
(2) 情報の扱い方にに関する事項	・領域の正答率は、69.8%で国、市の正答率よりも4～6ポイント高い。 ○「情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題では、正答率が76.7%で全国平均より14.7ポイント高かった。 ●「原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」問題では、62.8%で全国平均より1.9ポイント低かった。	・様々な教科の中で、複雑な情報を理解するために図や表を使って情報を整理する場を設定し力を養っていく。また、文章の内容を図や表を使って整理し、自分の理解を深めたり、人にわかりやすく伝える場を設定するようにしていく。
A 話すこと・聞くこと	・領域の正答率は、72.1%で国、市の正答率とほぼ同じである。 ●「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題では、62.8%で全国平均より10ポイント低かった。	・話し合い活動において、互いの立場を尊重して話し合いができるよう、指導するとともに、話し合う目的や必要性を意識して話し合いが進められるように場を設定していくようにする。 ・話し手の考えと自分の考えを比較しながら、自分の考えをまとめることができるように、思考ツール等を活用し考えをまとめることに慣れていくようにする。
B 書くこと	・領域の正答率は、31.4%で国、市の正答率より3～5ポイント高い。 ○「図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題では、全国平均より、4.7ポイント高かった。	・事実と創造、意見などを目的や意図に応じて書くよう指導する。その際、自分の考えや理由も付け加えて書くように声掛けをする。 ・自分の考えを書かせる時には、記述前の構成の段階から中心点が明確になるように段落と段落とのつながりや相手や目的を常に明確にもたせながら書かせるようにする。その際に、書きたいことの中心が構成のどこにあるかを常に意識させるようにしていく。
C 読むこと	・領域の正答率は、65.8%で国、市の正答率とほぼ同じである。 ●「目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けるかどうかをみる」問題では、66.3%で全国平均より1.1ポイント低かった。	・教科書やテスト等で文章を読む際に、自分の必要な情報となる部分に線を引く活動を継続して指導していく。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて、要約することを継続して指導していく。

宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	74.0	68.4	67.3
	B 図形	54.4	52.2	48.2
	C 測定			
	C 変化と関係	71.2	71.2	70.9
	D データの活用	76.7	68.3	65.5
観点	知識・技能	71.6	68.4	67.2
	思考・判断・表現	63.8	59.4	56.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	・領域の正答率は、74.0%で国、市の正答率より5～6ポイント上回っている。 ○「全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する」問題では、全国平均より8.7ポイント上回っている。	・計算ドリル、学習プリント、一人一台端末のドリル学習などを活用し、ドリル学習を行い、より正確に計算ができるように指導する。
B 図形	・領域の正答率は、54.4%で国、市の正答率より2～6ポイント上回っている。 ○「テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだだけを書く」問題では、全国平均より18.7ポイント上回っている。 ●「切って開いた三角形を正三角形にするためにテープを切るときAの角の大きさを書く」という記述式の問題では、正答率は全国平均とほぼ同じだったが、無回答率が全国より高かった	・図形の意味や性質について再度確認するとともに、日常生活の中から図形を見出し、図形の約束や性質と関連づけて考え活動を充実させることで、日常生活と図形の関連について関心を高める。 ・三角定規、分度器等の教具を使用する場面を意図的に設定する。 ・図形と式を関連付けて明らかになった式の意味について、児童同士で再度確認したり、ノートに記述して整理したりする活動を取り入れていく。
C 変化と関係	・領域の正答率は、72.1%で国、市の正答率とほぼ同じである。 ○「示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ」問題では、5.2ポイント上回った。 ●「5脚の椅子を重ねたときの高さを求める」問題では、正答率が89.5%で全国平均より4ポイント下回った。	・表から読み取ったり、表の中の知りたい数を求めたりし数量関係がとらえられるように指導する。 ・全ての授業を通して、判断した理由や問題を解決した過程を数学的に表現できるような場を設定していく。
D データの活用	・領域の正答率は、76.7%で国、市の正答率より8～11ポイント上回っている。 ○「二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く」問題では、73.3%で全国平均より15.3ポイント上回った。	・資料から問いを見つけ、必要な情報をくみ取れるように問題文を繰り返し読ませ、活用問題に触れさせる時間を確保する。 ・社会科や理科など他教科との関連を図りながら、必要なデータをグラフに表したり、グラフから読み取ったりして統計的な問題解決の力を養っていく。

宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いには、65.2%の児童が「当てはまる」と回答し、95.5%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が15.3ポイント、肯定的割合が5.7ポイント上回った。引き続き、児童のよさを認める指導を継続し、自己有用感を高めていきたい。

○「平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の問いでは、1時間以上と回答した児童は77.5%で全国平均を20.4ポイント上回った。また、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の問いでは、1時間以上と回答した児童は66.3%で全国平均を13.8ポイント上回った。家庭学習の時間を60分以上と指導している成果が見られる。自主学習ノートや一人一台端末の活用をさらに勤め、主体的に学習に取り組む態度を養ってきたい。

○「読書は好きですか」の問いには、56.9%の児童が「当てはまる」と回答し、83.9%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が16.8ポイント、肯定的割合が11.4ポイント上回った。今後も、図書室活用を促し、読書の推進を図っていく。

○「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の問いには、75.2%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が15.6ポイント、肯定的割合が11.5ポイント上回った。6年生では、これまで学んできた文章や話の組み立てを活用して発表する機会を設け、自分の考えの伝え方を復習し、定着を図るようにする。

○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の問いには、53.9%の児童が「当てはまる」と回答し、86.5%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が22.1ポイント、肯定的割合が11.7ポイント上回った。今後も探究的な学習を繰り返し行い、問題解決能力を高めていく。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていきますか」の問いには、57.3%の児童が「当てはまる」と回答し、86.5%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が25.5ポイント、肯定的割合が9.3ポイント上回った。また、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」の問いには、52.8%の児童が「当てはまる」と回答し、80.9%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が22.2ポイント、肯定的割合が5.2ポイント上回った。今後も、学級内で互いのよさを認め合う指導や自己有用感を高める活動を継続していく。

○「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか」の問いには、50.6%の児童が「当てはまる」と回答し、85.4%の児童が肯定的回答をした。全国平均を「当てはまる」が18.8ポイント、肯定的割合が8.0ポイント上回った。自分の意見と相手の意見を比較し考えをまとめる活動を継続していく。

●「将来の夢や目標を持っていますか」の問いでは、16.8%の児童は「持っていない」と回答し、全国平均を9.7ポイント上回った。

宇都宮市立豊郷南小学校（第6学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
主体的・対話的な学習を通して、読解力・表現力を高める国語科指導に取り組む	・読み取ったことと関連付けて、自分の意見や考えを書く。 ・相手の考えと自分の考えを比べながら聞く。 ・自分の考えを進んで表現し、相手のよさを取り入れながら、考えをまとめる。	・国語「書くこと」領域において市の平均と比べ、3.2ポイント高い。 ・質問紙調査「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか」に対し、児童の肯定的回答の割合は85.4%で県の平均より4.2ポイント高い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
国語において問題を解く時間が十分でなかった児童が国語で45.3%であった。問題文を読んで理解することや、自分の考えを文章に書き表すことに時間を必要としている。	・読書活動を充実させる。 ・様々な条件のもとで文章を書かせる。	・教材文だけでなく、関連する本を読んだり、様々なジャンルの本に親しんだりする機会を増やす。 ・「思考・判断・表現」の授業において自分の考えを書かせたり、理由を説明させたり、自分の考えを表現する学習活動を位置付ける。